

## 留学体験レポート

国際学部 2年 菅沼 楓

### 1. はじめに

私は自分の英語のスキルを向上させたいという思いと、異文化に触れたいという思いから、8月22日～12月6日までの約3か月半、アメリカのセントラルミズーリ大学に留学に行ってきました。今回はそのアメリカで体験した生活、食事、ロングブレイクなどについて書きたいと思います。

### 2. アメリカでの生活

私たちは基本的に、大学の寮で生活していました。2人部屋でしたが、トイレとお風呂はスイートメイトの2人と4人で共有するという形でした。私たち日本人は基本的に夜のうちにお風呂に入りますが、アメリカ人は朝入ることが多かったです。だから、歯磨きをしている途中でお風呂に入られてしまうと、相手がお風呂を出るまで歯磨きをしなければいけなくなり、時間もかかって授業に間に合わなくなってしまうので、余裕をもって起きることが大切でした。洗濯は寮の一階のランドリースペースに洗濯機と乾燥機があるので、自分の好きな時に洗濯をすることができます。また、ロビーには卓球台があり、卓球をして遊ぶこともできるし、テレビでDVDを見たり、休憩をしたりすることもできます。

### 3. 食事

食事は大学内にある3つの食堂を利用することができました。3つの食堂にはサラダやフルーツ、ハンバーガー、ピザ、サンドウィッチなどがあり、日によって違うメニューのものも食べることができました。また、クリスマスがある12月にはローストビーフなど、イベントに合わせた食事をとることができました。

### 4. サンクスギビングブレイク

11月の後半にサンクスギビングブレイクという1週間くらいの長いお休みがありました。その期間は寮のカウンターも閉まるし、食堂も利用することができなくなってしまうので、だから多くの人がその休みを利用して旅行に出かけます。私はこの休みを利用してフロリダのディズニーとユニバーサルスタジオに行きました。チケットや飛行機、ホテルなどを決めるのが大変だったので、9月頃から予約をしました。大きな問題もなく、楽しい思い出となりました。

### 5. おわりに

今回の約3か月半の留学を終えて、英語のスキルも自分自身も大きく成長することができたと思います。親の元を離れて暮らすことや、初めての地であったこと、あまり

知らない人々と暮らしていくこと、初めは不安でしかなかったけれど、現地で出会った人々がみんな優しく、帰るころにはまだ帰りたくないと思うほどでした。この留学はとてもいい経験で、これからの生き方に関しても見つめなおすいい機会となりました。留学させてくれた親に感謝です。この留学に参加できて本当によかったです。ありがとうございました。